



小松SSHだより

石川県立小松高等学校

第2号 H20.5.29
編集:SSH推進委員会
発行責任者:浅田秀雄

科学的探究力、人間力、自己表現力、国際感覚の育成をめざす

SSH研究発表会の開催について

SSH事業の研究活動を一層充実させることを目的として、県内の中学校・高校・大学及び教育委員会の先生方、全国SSH指定校の先生方に参加して頂き、6月19日(木)に本校にてSSH研究発表会を開催します。日程は以下のとおりです。

時間	内容	場所
9:50	受付	正面玄関
10:25	公開授業①「スーパーときめきサイエンス」 「野外実習の事前学習(仮称)」 (理数科1年40名) 指導教員 寺岸俊哉教諭・荒川富夫教諭	多目的講義室 ABCD(2階)
11:10		
11:20	公開授業②「スーパーグローバル」 英語による研究発表(3年)「正多角形の作図」 「こまはなぜ倒れない？」 (参加生徒:理数科1、2、3年120名) 指導教員 越川靖彦教頭 川崎創司郎教諭・中田博之教諭	視聴覚室(3階)
12:05	《 昼 食 》	理数科講義室 (3階)
12:50	研究協議会 司会 竹内千恵子教頭 (1) 挨拶 浅田秀雄校長 JST 中日本担当主任調査官 吉田崇雄氏 (2) SSH事業説明 ①SSH概要説明 理数科室 板東健寿教諭 ②公開授業説明 スーパーときめきサイエンス授業担当 寺岸俊哉教諭、荒川富夫教諭 スーパーグローバル授業担当 越川靖彦教頭 (3) 質疑応答 (4) 講評 石川県教育委員会学校指導課指導主事 濱本信一氏	理数科講義室 (3階)
13:35	終了	

科学高校との交流メンバー決定!



小松高校がSSHの指定を受けた平成18年度より継続している、韓国・大田(テジョン)科学高校との科学交流に今年度参加する本校側の生徒が決まりました。メンバーは、2年理数科の橋口遼一君、山本尚忠君、吉倉昌平君、辻有姫さんの4名です。

今年度の科学交流は、まず、7月13日(日)に科学高校より4名の生徒が3泊4日の行程で来日し、14日(月)・15日(火)に1泊2日のプログラムで金沢工業大学にて行われる「工学部における実験セミナー」に2年理数科の生徒40名と共に参加します。バルサ材とシミュレーション・ソフトを使い、デザイン面にも配慮しながら、「どうやって軽くて強度の高い橋をつくるか」をテーマに、個人活動、グループ活動を通して研究を進めていきます。最後には、グループで作上げた橋について英語でプレゼンテーションが行われ、強度やデザインについてのコンテストも行われる予定です。また、科学高校の生徒たちは4名のメンバー宅でのホームステイを通して文化的にも様々な体験をすることでしょう。

12月には上記4名のメンバーが3泊4日の行程で科学高校を訪問します。そこで、田口教諭の指導のもと取り組んできた「やさしさあふれる木の実エタノール」の研究成果を英語で発表し、環境問題や食糧問題について科学高校の生徒たちと考察を深める予定です。また、パートナー宅でのホームステイを通して本校の4名のメンバーたちも大きな刺激を受け、貴重な体験をしていくことでしょう。



全国SSH生徒研究発表会in横浜

平成20年度の全国SSH生徒研究発表会が8月7日(木)～8日(金)に横浜の会場で行われます。この発表会は、全国のSSH指定校の代表生徒が一堂に会し、研究発表会を通して親睦を深める場であり、本校からは理数科3年生3名(大倉圭翔君、下坂翔太郎君、松尾侑香さん)が「こまはなぜ倒れない?」の研究発表を行う予定です。会場には理科や数学のポスターセッションもあり、質疑応答により全国SSH校で行われている研究について学ぶこともできます。昨年は、2年生がポスターセッションに参加し、有意義な時間を過ごしてきました。そこで、今年度は理数科1・2年生からも10名程度の参加者を募りたいと思います。興味のある人は、保護者の方に相談した上で、6月4日(水)までに担任の先生に申し出てください。

